



縄文シティサミット

in ひがしまつしま

10月15日に開催されます!



2023

10/15

開始時間が下記に変更になりました!

14:30 ~ 17:20

会場：東松島市コミュニティセンター

定員：300名・無料・要申込み

サミット『縄文に学ぶSDGs』

- ・コーディネーター 水ノ江 和同氏
- ・登壇者 加盟都市首長等

記念講演

『縄文に学ぶまちづくりと持続可能な社会』

- ・水ノ江 和同氏 (同志社大学教授)

申込み受付中!



申込先：0225 - 88 - 3927

←メール専用QR

jomon@city.higashimatsushima.miyagi.jp

\\そもそも /

縄文シティサミットって?

「縄文」でつながる全国19の都市が集い、縄文文化の魅力発信や縄文を生かしたまちづくりの推進を目的に開催されています。今年はこちら東松島市が開催地となりました!



\\注目! /

今年の“テーマ”は?

毎年、縄文シティサミットには議題となる「テーマ」があります。気になる今年のテーマは「**縄文に学ぶSDGs**」。優れた技術と高い精神性を持ち、自然と共生しながら1万年も続いた縄文の生活文化に学び、縄文遺跡を有する加盟都市が、これからの持続可能な暮らしや社会のあり方を考えます。



夏のイベントレポート



おいでよ、縄文村へ!

夏休み企画「おいでよ、縄文村へ!」を開催。今年は、学芸員の仕事を体験する「いちにち学芸員(ほね編・どき編)」を初めて企画しました。「ほね編」は、貝塚から見つかった骨を標本と見比べて何の骨なのかを調べる「同定」に挑戦するもの。「ニホンジカ」と「イノシシ」、「魚」の骨を観察し、学芸員と答え合わせ!よく観察しないとわからない同定に「プロのお仕事はすごい!」「おもしろい!」と嬉しい感想が聞かれました。

2023.8.11-15



「どき編」では、土器の模様を写し取る「拓本」に挑戦!土器の観察にも挑戦し、自分だけの「縄文土器図鑑」を完成させました。

ひと夏を通して縄文ライフを体験する「縄文教室」。今年は猛暑の中での野焼きとなりました。

汗だくになりながら土器を並べ薪を運び、皆で協力しながら野焼きを行いました。

土器が焼き上がるまではモノ作り体験。なかでも人気だったのが、ヤマザクラの樹皮を編みこむ「ストラップ」と、「カラムシ」という植物から繊維を取り出し糸を作る体験。自然のものを上手に利用した縄文人の技に、みなさんびっくりした様子でした。

2023.8.20



カラムシの糸作り

貝殻で茎をしごき、繊維を取り出します。両手で燃ると一本の糸になります。

縄文教室 野焼き



縄文の塩作りII

9月になっても一向に暑さが収まらない中、今年も過酷な「塩作り」の季節がやってきました。熱中症対策は万全!はりきって塩作りスタートです。

自分で作った製塩土器を並べて薪をくべ、事前に濃縮した海水を入れてひたすら煮続けます。この日は曇もない晴天。どんどん海水が蒸発し、例年よりもたくさん塩を作ることが出来ました!

いつにも増して過酷だった塩作りですが、出来た塩を前に「達成感がスゴイ!」「暑いけどクセになる!」と、大満足の様子でした。

2023.9.3



出来上がった塩